

---

# 提言の背景と目的

中国地域・東北地域の連携に向けて

平成23年5月23日

中国地域産学官連携コンソーシアム(さんさんコンソ)  
岡山大学 研究推進産学官連携機構  
渡邊 裕

---

本提言は、被災者の方々が一日も早い「日常」を取り戻すための提言です。具体的には、被災地での緊急の雇用確保と、新たな生活を始められる被災者の方々の、安定生産活動の保証と、我が国共通の将来的なエネルギー問題解決に向けて、東北地域の固有性に着目した取組提案を行うものです。

(**長期的視点**) 森林系バイオマスを活用した、電力・熱供給インフラを有する スマートバイオマスタウン構想の推進

(**中期的視点**) 農地、沿岸域の生産性修復事業を通じ、被災された農業・漁業従事者の 雇用確保、将来設計の提示

(**短期的視点**) 崩壊家屋、流木等由来の木質系バイオマスの選別事業と、その活用による、緊急雇用と有価物(バイオマス燃料、建設資材等)製造による、「衣食職住」の確保、新規事業の開始。

# 提言の狙い

## 1) 被災地での廃棄物処理等に関連した**雇用確保**の推進。

崩壊家屋や流木など、木質系バイオマス活用の観点から、**がれき処理**を有意義に進める。

また、パーティクルボード製造(仮設住宅建設資材)、ならびにペレット等の燃料製造を行い、仮設住宅などの暖房、熱供給、給湯用燃料として活用。余剰分は販売し震災復興資金とする。

## 2) 被災地の**土壌・海洋汚染対策**の推進。

国が被災した田畑や沿岸域を一時借り上げ、土壌汚染ならびに海洋汚染回復事業を実施する。

具体的には、農業従事者、漁業従事者を雇用し、大学研究者等との連携して、ファイトレメディエーションの実施や、港湾・沿岸域の生産性回復のため、海藻育生、藻場形成事業を実施する。修復が完了時点で借り上げ地域は、本来の持ち主に返還され、農業従事者や漁業従事者による、本来の生産活動へ移行する。

## 3) 長期的視野からの、**森林系バイオマス活用(電力・熱供給等)事業**の形成。

国内林業の活性化へ向け、森林系バイオマスを活用する有価物生産拠点、電力・熱供給インフラを保有する**復興都市(スマートバイオマスタウン)の建設推進**と、バイオマス系燃料や有価物の国内流通の確立。

重要なことは、**健全な森は健全な海を育てる**ことを念頭に、震災復興計画における街作りにおいて、開発初期から長期にわたるエネルギー政策の具体策として、熱供給配管などの敷設を実施することである。